

令和3年度 住民懇談会

テーマ「自主防災組織」

たくさんのお声をいただきました！

令和3年10月26日～28日、五所川原・金木・市浦の3地域で住民懇談会を開催しました。

懇談会では、今年度から初めてテーマを設けて懇談を行ったほか、住民の皆さんから地域の課題等について、さまざまな意見・質問が寄せられました。ここでは、各会場での意見・質問について主なものをご紹介します。



自主防災組織等について

【防災管理課】

Q) 「自主防災組織」という言葉は初めて聞く。人口減少や高齢化の中でどのように結成すればよいか。
A) 町内会を単位として結成しているところが多くありますが、難しいようであれば隣接する複数の町内会で結成することもできます。今後は、自主防災組織について、さらなる周知を図るほか、要望があれば、職員が出向いて説明会や防災研修会を開催し、結成を呼びかけていきます。

Q) 自主防災組織を結成したが、避難訓練をやったことがないので、頭では理解していても、実際の動きが分からない。訓練の計画はどのように立てればよいか。
A) 実際に訓練を行ってみたいと体が動かないと思いますので、個別に相談に応じます。

Q) 段ボールベッドの組立やプライバシー保護のためのパーティションの設置などについて、自主防災組織の中で体験することが、防災意識の高揚につながるの、そうした機会を提供してほしい。
A) 今年度も段ボールベッドやパーティションの使い方等について、自主防災組織を対象に研修を行っていますので、まずはご相談ください。

Q) 防災ハザードマップには、河川浸水想定などが掲載されているが、地区によってはため池の決壊など注意すべき視点が異なる。その地区に応じた避難方法を認識し合う必要があるため、細やかな情報を周知してほしい。
A) 地区によって実情が異なると思われるので、防災研修会や訓練を通じて、できるだけ細やかに説明していきます。

自主防災組織については、広報ごしよがわら12月号6～7ページに特集しています。ご覧ください。



道路管理について

【土木課、各総合支所】

Q) 雪解け後に道路の破損箇所が多く見受けられる。市に要望を出さなくても事前に破損箇所を調査し、対応をお願いしたい。
A) パトロールをしているものの、行き届かない箇所もあるので、回数を増やす等で対応していきます。また、破損箇所を発見した場合はご連絡ください。

空き家対策について

【防災管理課】

Q) 少子高齢化により空き家が目立ち、老朽化している。強風により建物の一部が飛散することもあるため、事故が発生する前に対策をお願いしたい。
A) 市では、空き家管理者へ適正管理を促すほか、賃借売買を仲介する「空き家バンク」や解体希望者に補助金を支給する等の事業を実施しています。個人の財産であることから、市が簡単に解体することはできませんが、できる限りの対策を進めていきます。

稲わら焼きについて

【農林水産課】

Q) 稲わら焼きの影響と思われる健康被害の相談が寄せられている。市では、今年度から稲わら活用Win-Winモデル事業をスタートさせているが、県や国と連携しながら、事業の推進をお願いしたい。
A) 農家の方も本当は焼きたくないと話しています。そこで、市では稲わらを収集して販売する農家や事業者の育成を図り、地域で持続的に稲わらの焼却防止・有効活用に取り組む事業をELM周辺の唐笠柳地区から始めています。今後、稲わらを収集する作業機械を増やすなどして範囲を広げていき、地域全体で稲わら焼きの防止に取り組んでいきます。

このほかにも多くのご意見をいただき、ありがとうございました。懇談会にかかわらず、ご意見・ご要望等がありましたら、担当部署へご相談ください。

皆さんからお寄せいただいたご意見を参考に、これからもより良い街づくりを進めていきます。

住民懇談会に関する問い合わせ先
総務課 内線2117